令和８年１０月２７日(火)１５８５０号
毎週火曜日発行
昭和５４年８月１日　第三種郵便物承認
発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区みこころセンター内　定価1部１００円

インクルーシブ社会を目指し、自立を支援します

ユートピア

ＡＪＵ

～３１１号～

（ここに帯布をあわせてね！）

（帯布あわせ位置）

目次

- 高校生ILP　報告・・・・・・・・・・・・・・・・１
- 高校生ILP　感想・・・・・・・・・・・・・・・・２
- 高校生ILP　写真・・・・・・・・・・・・・・・・３
- ピアカン公開講座のお知らせ・・・・・・・・・・４
- 人生、まだまだこれから①・・・・・・・・・・・５
- 人生、まだまだこれから②・・・・・・・・・・・６
- つむにっき・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
- キャブ通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
- こどもフォーラムのお知らせ
  瑞穂運動場西駅エレベーター報告・・・・・・９
- ８月・９月活動報告・・・・・・・・・・・・・１０
- 会費納入・寄付お礼・つぶやき・・・・・・・１１

編集責任者
特定非営利活動法人ユートピア若宮
〒471-0871　豊田市元宮町6丁目１９番地
[電　話] (0565)31-1117
[メール] wakamiya@utopia-wakamiya.com
[ホームページ]
https://utopia-wakamiya1991.com/

ユートピア若宮のホームページ

ユートピア若宮　検索

ユートピア若宮のフェイスブックページ

ユートピア若宮facebook　検索

令和８年１０月２７日(火)　１５８５０号　毎週火曜日発行　発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区みこころセンター内　定価１部１００円

第3種郵便身体低料金（毎週火曜日）令和8年10月27日（火）15850号　昭和54年8月1日　第3種郵便物承認

高校生ILP報告

今年も、8月4日、18日、25日に高校生ILPを行いました。今回は新しく2名が参加してくださいました。その時の様子をお伝えします。

1日目

オリエンテーション、自立について、私たちの権利、先輩当事者からの話をしました。

自立についてでは、みなさんが思う自立や十彩の自立の考え方について話しました。参加者はきちんと話を聞いていました。

「私たちの権利」では、「自分の気持ちを優先させる権利」や「危険をおかす権利」など障害の有無に関係なく、私たちが当たり前に持っている10の権利をみんなで順番に読みました。スタッフから一つひとつの意味を説明させてもらいました。

「先輩当事者からの話」では、当事者スタッフから一人暮らしを始めるきっかけや、一人暮らしをしていろいろ困ることもあるけど、制度（居宅介護や移動支援）などを使って自分の好きなことをして楽しんでいるという話をしました。参加者からは今、自分で決めていることなどの話がありました。

その後、3日目に行うたこ焼きパーティーに向け、みんなでたこ焼きに入れたい具材を出し合いました。

2日目

たこ焼きの具材とトッピング・調味料を買うグループに分かれた後、3日目に行うたこ焼きパーティーの具材を買いに、みんなでイオンスタイル豊田へ行きました。イオンでは、使う量を相談して買うものを決めていたり、商品の賞味期限を確認して買うことができていました。会計時は、きちんと領収書をもらうことができていました。

3日目

たこ焼きパーティーをしました。包丁を上手に使って、ねぎやウインナーを切る人や、協力してたこ焼きの生地を作る様子などが見られました。生地を流して、それぞれたこ、ウインナーなどを入れました。食べたら、「おいしい」という声がいっぱい聞こえてきました。またデザートに、ホットケーキミックスを使って焼いたカステラも食べた人がいました。

たこ焼きパーティー終了後は、3日間の振り返りをしました。「いい経験になりました」、「料理を作ることができて、楽しかった！」などの感想がありました。

最後には、「高校生は終わったけど、今度は別のイベントに参加したい」ということを言ってくれた人もいました。プログラムの最後に記念写真をみんなで撮り、終了しました。

最後になりましたが、高校生向けILPに参加していただきありがとうございました。



↑みんなで記念写真を撮りました！

令和８年１０月２７日（火）　１５８５０号　毎週火曜日発行　発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区みこころセンター内　定価１部１００円

高校生ILP感想

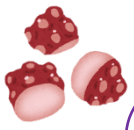
ぼくは、今回初めて自立生活プログラムに参加しました。参加する前は、どんなところなのか、どんな人がいるのか分からなかったので、はじめは少しドキドキしました。行くときは、ちゃんとできるかなと少し心配でした。会場に着くと、みなさんが笑顔で迎えてくれました。やさしく声をかけてもらえて、とてもうれしかったです。最初は少し緊張していましたが、みなさんがやさしくしてくれたので、だんだん緊張しなくなりました。

3日間の活動で、みんなで買い物に行ったり一緒にたこ焼きを食べました。みんなで食べるたこ焼きは、とても美味しかったです。できたてのたこ焼きを食べることができて、うれしかったです。楽しくお話をしながら食べたことも、心に残りました。

今回参加していろいろな人と一緒に過ごすことは楽しいことだと思いました。

始めはドキドキしたけれど、参加して良かったです。笑顔で迎えてもらえて安心しました。機会があれば、また参加したいです。

（伊豫田裕晴さん）





いろいろなお話をしてくれてありがとうございました。スタッフさん、たこ焼きパーティーの説明をしてくれてありがとうございました。

パーティー当日、いろいろな材料を切って楽しかったです。

3日間ありがとうございました。

（宮本滉基さん）









第３種郵便身体低料金（毎週火曜日）令和８年１０月２７日（火）１５８５０号　昭和５４年８月１日　第３種郵便物承認

高校生ILPの思い出写真

★1日目★




左：音声以外のコミュニケーション方法を考えるアイスブレイク

右：みんなで「私たちの権利」を読み合っています

★2日目★



みんなでイオンで買い出し！




会計も自分でばっちりできます！




章さんに会いました！



たくさん種類があって選ぶのに迷ってしまったけれど、大丈夫！

事務所に戻って、買った物を確認！

★3日目★




慎重にタコを切っています！



協力して準備！

集合写真




いざ、実食！！



木本さんにふるまいました！

どなたでもご参加いただけます！

ピア・カウンセリング公開講座



無料開催！

安心して聞きあおう！ピアカンで元気になろう！



日にち　11月29日
14時～16時30分
（13時30分～受付）

定員　11名
興味がある方、どなたでも！

締切　11月13日（金）
締切後、参加決定のご連絡をします。
申込者多数の場合、豊田市の方を優先させていただきます。

会場　とよた市民活動センター 研修室
愛知県豊田市若宮町1-57-1 T-FACE A館9階

ピアカンって何？

リーダー：中野まこ 氏
（自立生活センター十彩　代表）
サブリーダー：木本光宣 氏
（NPO法人ユートピア若宮　理事長）

ピア＝仲間のこと。ピア・カウンセリングは、同じ背景を持った仲間同士（ここでは障害当事者）のカウンセリングです。親しみをこめて「ピアカン」と呼んでいます。思いを聞きあうことで、自分自身の本来の力を取り戻し、自分らしい生活をつくっていく力につなげていきます。公開講座は、ピアカンの魅力を広く伝えていくために、障害の有無を問わず、興味のある方どなたでもご参加いただけます。

ふりがな		所属団体名	
名前		電話番号	
メール		ピアカン受講歴	あり ・ なし
障害の有無	（チェックをつけてください） □なし　□肢体不自由　□視覚障害　□聴覚障害　□知的障害 □精神障害　□発達障害　□その他（　　）		
必要な配慮	（チェックをつけてください） □なし　□手話通訳　□要約筆記　□拡大文字　□介助者と一緒に参加する □その他（　　）		

【主催】自立生活センター十彩
【後援】豊田市、豊田市社会福祉協議会、豊田市福祉事業団
【申込】自立生活センター十彩（担当：中野・高田）
toiro@utopia-wakamiya.com
0565-31-1117　0565-85-8185

QR コードからもお申込いただけます！⇒

★本事業は住友ゴム CSR基金の助成を受けて開催します★

令和８年１０月２７日（火）　１５８５０号　毎週火曜日発行　発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区みこころセンター内　定価１部１００円

第３種郵便身体低料金（毎週火曜日）令和８年１０月２７日（火）１５８５０号　昭和５４年８月１日　第３種郵便物承認

人生（じんせい）は、まだまだこれから。

みなさんこんにちは。今月号（こんげつごう）より、新（あたら）しい連載（れんさい）がはじまります！！
今回（こんかい）の連載（れんさい）は、今年（ことし）の４月（がつ）から新（あら）たに地域（ちいき）で一人暮（ひとりぐ）らしを始（はじ）めた方（かた）に、これまでの生活（せいかつ）や一人暮（ひとりぐ）らしを始（はじ）めて感（かん）じたことなどを綴（つづ）っていただきます。
どのようなお話（はなし）が聞（き）けるのでしょうか。ぜひ連載（れんさい）をお楽（たの）しみください。

はじめまして、こんにちは。
わたしの名前（なまえ）は白木由起子（しらきゆきこ）です。この４月（がつ）から念願（ねんがん）だった一人暮（ひとりぐ）らしを始（はじ）めたばかりの新入（しんい）りです。

といっても、人生（じんせい）のほうはまあまあ長（なが）くやっております（笑（わらい））。

1970年（ねん）、京都（きょうと）で生（う）まれ、幼稚園（ようちえん）の頃（ころ）に母（はは）の実家（じっか）がある刈谷市（かりやし）へ引（ひ）っ越（こ）しました。両家（りょうけ）にとっての初孫（はつまご）で、しかも女（おんな）の子（こ）ということもあり、ずいぶん可愛（かわい）がられて育（そだ）ったようです。母方（ははかた）の祖父母（そふぼ）は、刈谷（かりや）から京都（きょうと）まで毎週（まいしゅう）のように新幹線（しんかんせん）で会（あ）いに来（き）てくれていたそうで、家族（かぞく）からは「甘（あま）やかされたせいで、わがままに育（そだ）った」と未（いま）だに言（い）われます（笑（わらい））。

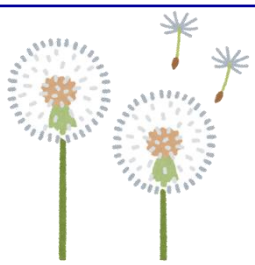
子供（こども）の頃（ころ）は活発（かっぱつ）な子（こ）だったと思（おも）います。中学（ちゅうがく）では剣道部（けんどうぶ）に入（はい）り、学校（がっこう）の練習（れんしゅう）だけでなく、友達（ともだち）と夜（よる）は市内（しない）の道場（どうじょう）に通（かよ）い、高校生（こうこうせい）や大人（おとな）に混（ま）じって稽古（けいこ）に励（はげ）みました。団体戦（だんたいせん）のメンバーに選（えら）ばれ、三年生（さんねんせい）の時（とき）には二段（にだん）に合格（ごうかく）。仲間（なかま）と一緒（いっしょ）に汗（あせ）を流（なが）した中学時代（ちゅうがくじだい）は今（いま）でも大切（たいせつ）な思（おも）い出（で）です。

高校（こうこう）は自宅（じたく）の目（め）の前（まえ）にある公立高校（こうりつこうこう）に進学（しんがく）しました。入学（にゅうがく）して間（ま）もない頃（ころ）、同（おな）じクラスのサッカー部（ぶ）のＮ（えぬ）くんに体育館（たいいくかん）に呼（よ）び出（だ）され、「好（す）きです。付（つ）き合（あ）ってください」と告白（こくはく）され、「はい」と即答（そくとう）（笑（わらい））。学校（がっこう）から駅（えき）までの道（みち）を遠回（とおまわ）りして一緒（いっしょ）に帰（かえ）ったり、夜遅（よるおそ）くまで文化祭（ぶんかさい）の準備（じゅんび）をしたり、夏（なつ）の終（お）わりの海（うみ）で、二人並（ふたりなら）んで夕陽（ゆうひ）を眺（なが）めたり。
野球部（やきゅうぶ）のマネージャーをしていたのですが、野球（やきゅう）そっちのけで、サッカーをする彼（かれ）の姿（すがた）ばかり追（お）っていました（笑（わらい））。

大学（だいがく）は外国語学部（がいこくごがくぶ）の英米学科（えいべいがっか）に進学（しんがく）。英語（えいご）を使（つか）って海外（かいがい）と関（かか）わる仕事（しごと）がしたいという夢（ゆめ）があり、二年生（にねんせい）の時（とき）にオーストラリアに語学留学（ごがくりゅうがく）しました。
今（いま）とは違（ちが）い、スマホもインターネットもない時代（じだい）。ホームシックになりながら、英語（えいご）だけの環境（かんきょう）で過（す）ごした経験（けいけん）は忘（わす）れられない思（おも）い出（で）です。











卒業後の夢はキャビンアテンダント(当時はスチュワーデスと呼んでいました)でした。

しかし、当時は四年制大学卒の女子を新卒採用する大手航空会社はほとんどなく、夢を叶えることはできませんでした。

花が好きだったので花に関わる仕事にも興味がありましたが、最終的にはINAXに就職。名古屋・伏見のショールームで、トイレやお風呂、システムキッチンなどのご案内をしていました。

26歳で結婚。夫の転勤で三重県の津、伊勢、御浜町と引っ越しました。伊勢にいた時に娘を授かり、妊娠中は毎日のように伊勢神宮の中を散歩していました。おかげで超安産！！

御浜町は、それまで暮らしていた名古屋や津、伊勢とはまるで別世界。最初は「こんなところでどうやって暮らしていこう」と途方に暮れました。

漁師町で、ご近所の方が漁で獲れた魚を持ってきてくれたり、ある時はアワビやサザエが玄関先に置いてあったり。一歳だった娘もずいぶん可愛がってもらいました。

そんな田舎ならではの温かいご近所付き合いを通じて、少しずつ御浜の暮らしに馴染んでいきました。

30歳の時、首の骨を折る大怪我をし、わたしの人生は一変しました。事故の詳しい状況については触れずにおきたいと思いますが、そこからこれまでとはまったく違う人生が始まりました。

ここから先は、次号以降、少しずつお話ししていけたらと思います。



令和８年１０月２７日(火)　１５８５０号　毎週火曜日発行　発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区みこころセンター内　定価１部１００円

第３種郵便身体低料金（毎週火曜日）令和８年１０月２７日（火）１５８５０号　昭和５４年８月１日　第３種郵便物承認

つむにっき

皆さんこんにちは。福島優梨です。〇〇の秋といえば、何を思い浮かべますか？食欲の秋、芸術の秋、読書の秋…何かを始めるのに、ぴったりな季節ということで、スポーツの秋にしたいと思っています。

私は、子どもの頃から、スポーツがあまり好きでは、ありませんでした。なぜなら、自分ができないことを１番突き付けられるからです。転機が訪れたのは、特別支援学校の高等部に、入学してからのことです。体育の授業を通して、ボッチャをはじめとする様々なパラスポーツと出会いました。自分にもできるスポーツがあるんだ！と嬉しくなったのを覚えています。それからは、スポーツへの苦手意識が和らぎ、3年生から、パラ陸上競技の１つである『ビーンバッグ投』を始めました。重度障がいのある車いす使用者を対象とした投てき競技で、重さ120ｇ、12センチ四方の袋を投げて、どれだけ遠くに投げられるかを競います。投げ方は自由で、足で蹴って、飛ばす方法も認められています。

私は、横投げが１番遠くに飛ばせるので、ビーンバッグを離すタイミングや車椅子の向きを調整しつつ、どうしたらより、遠くに飛ばせるかを研究しています。飛距離がまだまだ短いので、お家の中で、練習していますが、実際の競技は、陸上競技場のフィールドで行われるので、天気や風向きなどでも、自分の身体の状況が変わるので、公園でも練習したいと考えています。目指すは、県大会入賞と全国大会出場です。皆さんは、子どもの頃、苦手だったけれど、大人になって好きになったことは、ありますか？

10月も楽しく穏やかに過ごせることを願って、次回のつむにっきもお楽しみに。

私のビーンバック



ハンディキャブ通信



～ あなたが見ているその色は何色なのか～

突然ですが、あなたが見ている「赤」と私が見ている「赤」は本当に同じ色でしょうか。日常生活では、赤いリンゴを見れば「赤い」と言い、信号の赤を見れば「止まれ」と理解します。同じ言葉を使い、同じように行動できるのですから、当然、同じ「赤」を見ていると思っています。

では、あなたが「赤」と呼んでいる時の感覚と、私が「赤」と呼んでいる時の感覚が、実は全く違っていたとしたらどうでしょうか。あなたにとっての「赤」が私にとっては「青」のような感覚だったとしても、私たちは同じように「これは赤だ」と答えるかもしれません。外から見れば、二人の反応は同じです。しかし、それぞれの頭の中で何をどう感じているのかを直接確かめる術はありません。

例えば、ある人が「大丈夫です」と言ったとしても、本当に大丈夫なのか、実は無理をしているのではないか、それとも「大丈夫」という言葉を別の意図で使っているのかは言葉だけでは分からないこともあります。「痛い」「怖い」「うるさい」「美味しい」「楽しい」「安心する」といった感覚も人によって違います。同じ言葉を使っているからと言って感覚まで同じという訳ではないようです。

福祉サービスの現場ではどうでしょうか。サポートする側は経験や知識から「きっとこう感じているだろう」と考えます。もちろん、それはサポートに必要なことでもありますが、その推測を「本人も自分と同じように感じている」と思い込んでしまい、いつの間にか本人の気持ちを置き去りにしてしまうことのないように気を付けなければならないと思います。

本人が言葉で十分に伝えられない場合もあると思います。そんな時は表情や行動、普段との違いなどから丁寧に考えていく必要があります。ただし、それもあくまで「こちらから見た解釈」です。相手の頭の中を直接見ることはできません。だからこそ、お互いが「分かったつもり」になるのではなく「もしかしたら自分とは違う感じ方、受け取り方をしているかもしれない」という余白があると想定することが大切なのかもしれません。

同じ場所にいて、同じ出来事を経験していても、一人ひとりの世界の見え方は違います。その違いをなかったことにするのではなく、知ろうとする姿勢を尊重しなければならないと思う今日この頃です。

～8月・9月の運転・レクチャーありがとう～

青木 創太	今枝 崇	宇野 和男	浦口 尊史	大川 達大	大久保 直幸
樫田 栄行	加藤 弘己	菊池 孝司	鬼頭 潤	木下 恵太	畔柳 稔
志垣 亮二	鈴木 淳	鈴木 幸雄	滝本 昌和	豊福 邦彦	豊福 晃司
中島 幹夫	信定 佳孝	早川 英樹	浜口 貴之	前 繁則	前田 祐輔
松井 宣明	松嶋 和宏	水野 博規	宮地 重信		

【順不同　敬称は略しております】

令和８年１０月２７日（火）　１５８５０号　毎週火曜日発行　発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区みこころセンター内　定価１部１００円

第3種郵便身体低料金（毎週火曜日）令和8年10月27日（火）15850号　昭和54年8月1日　第3種郵便物承認

とよた こどもの権利フォーラム 2026

8月号でもお伝えしましたが、今年も「とよたこどもの権利フォーラム」が開催されます！
講演会や様々な団体のワークショップなど、楽しい企画を通して、「こどもの権利」について触れるきっかけになると思います。
十彩も特別企画として、車いす体験を行います。車いすに乗って会場をまわり、気づいたことを共有して、みんなが過ごしやすくなる方法を考える時間にしていきます。
フォーラムの開催日や十彩ブースの詳細は以下のとおりです。

★こどもの権利フォーラムについて★
【日時】11月8日（日）9時30分～16時30分
【場所】豊田産業文化センター（豊田市小坂本町1-25）
【出展内容】
・こどもはっけんひろば（こども発企画や、各団体のワークショップあり）
・講演会（こどもにとっての遊びや、育児、教育などに関するお話を聞くことができます）

★十彩ブースについて★
【出展時間】9時30分～16時頃まで
【場　　所】産業文化センターエントランスホール付近
【内　　容】車いすに乗り、会場内の各ポイントや他団体のブースをまわります。
車いす体験後、気づいたことを共有する時間もあります。



みなさまのご来場お待ちしております！！

瑞穂運動場西駅エレベーター報告

8月29日（土）に瑞穂運動場西駅で行われたエレベーター式典に、十彩から中野と黒柳が出席しました。
このエレベーターは30人乗り、車いすだと3台一緒に乗ることができる大きなエレベーターが設置されました。名古屋市を中心に行われたアジアパラ競技大会に向けて作られましたが、これからのイベントやスポーツ観戦がますます楽しみになります！なにより、エレベーターに障害当事者、ベビーカーを押している方、高齢の方などみんなで乗って一緒に行けることが1番いいなと感じました。これからの移動がしやすくなることを期待しています。
最後になりましたが、ご尽力いただいたみなさまありがとうございました。（黒柳）

８月・９月　活動記録

※【Z】表記＝ZOOM

ユートピア

〈８月〉
５日：令和８年度愛知県障害者ピアサポート研修事業、（事前基礎研修）
27 日、28 日：令和８年度愛知県障害者ピアサポート研修事業（基礎研修）
〈９月〉
28 日：令和８年度愛知県障害者ピアサポート研修事業（事前専門研修）

十彩

〈８月〉
１日：社会人 ILP①　４日：高校生 ILP①　５日：豊田市社会福祉審議会障がい者専門分科会
11 日：イエローレシート店頭活動　13 日：自立生活センター・VISION 訪問　15 日：社会人 ILP②
18 日：ボランティア受け入れ、豊田市障がい者計画推進懇話会、高校生 ILP②、
21 日：実践教室講師研修会、当事者 WG【Z】、中学生と地域の大人による対話プログラム tsumugu 事前研修
22 日：ごちゃまぜ運動会ジュニアサポーター講座②　23 日：高校生 ILP（最終回）
27 日：ピアサポート基礎研修（～28 日）、ヤングケアラー研修【Z】
29 日：瑞穂運動場西駅エレベーター設置式典、社会人 ILP③　31 日：多世代参加支援プロジェクトヒアリング
〈９月〉
１日：アサーティブ研修【Z】　２日：北陵中学校道徳講話打ち合わせ【Z】　３日：カスタマーハラスメント研修【Z】　４日：資質向上研修、図書館ヒアリング　７日：新職員歓迎会　９日：中学生と地域の大人による対話プログラム tsumugu（浄水中学校）　11 日：資質向上研修、当事者 WG【Z】　12 日：社会人 ILP④
14 日：北陵中学校道徳講話　16 日：自立生活センター・生活塾訪問　18 日：資質向上研修、当事者 WG【Z】
19 日：グラデーション　24 日：東部ブロック自立支援協議会　25 日：JIL 女性 PT 交流会【Z】、愛知県障害福祉に係る次期計画に対する意見ヒアリング、当事者 WG【Z】
26 日：運営委員会、社会人 ILP⑤　29 日：アサーティブ研修【Z】
〈随時〉
JIL 常任委員会【Z】／JIL あり方検討会【Z】／JIL 常任委員会司会進行会議【Z】／JIL 中部ブロックユース【Z】／JIL インクルーシブ教育 PT【Z】／愛重連交通部会【Z】／愛重連教育部会【Z】／愛重連役員会／愛重連事務局会議【Z】／ピアカウンセリング集中講座（知多）／福祉実践教室（計５校）

キャブ

〈８月〉
21 日：運転協力者講習会

りんく

〈８月〉
７日　西部ブロックサポート連絡会（事例検討会）　２５日・２６日　相談・面接技術向上研修
２８日　相談支援専門員　現任研修
〈９月〉
２日・３日　障害福祉分野と介護保険分野との連携（ASK 研修）　９日　新人相談員勉強会
１０日　中電ウィング（特例子会社）見学会　２４日　東部ブロックサポート連絡会（お金にまつわる問題や支援者間連携）、西部ブロックサポート連絡会（課題共有会）
２５日　発達障害と理解と支援（豊田地域自立支援協議会）
２８日　豊田特別支援学校　学校公開
〈随時〉
ヤングケアラーオンライン研修【Z】





令和８年１０月２７日（火）　１５８５０号　毎週火曜日発行　発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区みこころセンター内　定価１部１００円

第３種郵便身体低料金（毎週火曜日）令和８年１０月２７日（火）１５８５０号　昭和５４年８月１日　第３種郵便物承認

2026年度会費納入ありがとうございました

（10月16日現在）　敬称は略させていただきます

大橋道彦　鈴木邦人　鈴木令子　滝　安子　田中泰恵　成瀬里美　平山晶士
前澤このみ　山本由美

書き損じはがきをいただきました

豊田市社会福祉協議会様から書き損じはがきをいただきました。
活動のために使用させていただきます。ご協力ありがとうございました！！



音訳CDをご利用ください

２か月に一度発送している会報ですが、実は紙だけではなく音訳CDでも聞くことができます！！
音訳CDとは、会報の内容をそのまま音にして届けるもので、一般的なCDと同じように聞くことが可能です。いつも紙で読んでいる方も、ページをめくって読むのが大変など思う方はぜひご活用ください。
音訳CDをご希望される場合は、ユートピアまでご連絡ください。



「まころんのつぶやき」

先日、知多半島の内海にある「サポートイン南知多」という旅館に行ってきました。ここは、バリアフリー旅館を謳っていて、車いすユーザーも安心して過ごせる旅館です。畳の上も「車いすのままで大丈夫ですよ～」と言われ、ちょっと罪悪感を抱えつつ、久しぶりに畳の香りを楽しみました。すぐ近くには海があり、スロープがあるので砂浜近くまで行くことができました。大学時代は知多半島の美浜町に住んでいたので、この海の感じ、懐かしいな～と思いながら、夕日が沈むのを眺めていました。
ライブや研修で外泊することは多いですが、泊まることを目的とした旅行は久しぶりだったので、ゆっくり過ごせてリフレッシュできました。また来年も行けるようにお仕事頑張ります★


客室には電動ベッドもあります


海と夕日と私

令和８年１０月２７日(火)１５８５０号
毎週火曜日発行
昭和５４年８月１日　第三種郵便物承認
発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区みこころセンター内　定価1部１００円

インクルーシブ社会を目指し、自立を支援します

ユートピア

ＡＪＵ

～３１１号～

（ここに帯布をあわせてね！）

（帯布あわせ位置）

目次

- 高校生ILP　報告・・・・・・・・・・・・・・・・１
- 高校生ILP　感想・・・・・・・・・・・・・・・・２
- 高校生ILP　写真・・・・・・・・・・・・・・・・３
- ピアカン公開講座のお知らせ・・・・・・・・・・４
- 人生、まだまだこれから①・・・・・・・・・・・５
- 人生、まだまだこれから②・・・・・・・・・・・６
- つむにっき・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
- キャブ通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
- こどもフォーラムのお知らせ
  瑞穂運動場西駅エレベーター報告・・・・・・９
- ８月・９月活動報告・・・・・・・・・・・・・１０
- 会費納入・寄付お礼・つぶやき・・・・・・・・１１

編集責任者
特定非営利活動法人ユートピア若宮
〒471-0871　豊田市元宮町6丁目１９番地
[電　話](0565)31-1117
[メール] wakamiya@utopia-wakamiya.com
[ホームページ]
https://utopia-wakamiya1991.com/

ユートピア若宮のホームページ

ユートピア若宮　検索

ユートピア若宮のフェイスブックページ

ユートピア若宮facebook　検索

令和８年１０月２７日(火)１５８５０号　毎週火曜日発行　発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区みこころセンター内　定価１部１００円